



え まついのりこ

# 紙芝居と絵本 … 心に響く学びを得た講座

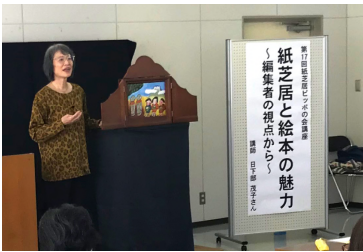
10月22日、童心社紙芝居プロモーション元室長の日下部茂子さんの講演に、70名ほどが耳を傾けました。これは私が代表を務める「紙芝居ピッポの会」が主催する4年ぶり17回目の講座です。タイトルは「紙芝居と絵本の魅力ー編集者の視点からー」。

ならず観客にとっても良い勉強の機会となりました。

「紙芝居を演じる際のポイントがとてもよく分かった。声色や目線など、意識するところがたくさんあると気付いた」とのうれしい声もいただきました。

今回参加されたみなさんが、紙芝居に向き合う気持ちに、今後一層の自信と余裕をもって臨んで下さるのではないかな。そんな期待と楽しみを感じさせていただいた一日でした。

(橋村孝子)



長年のご経験をもとに、編集者が作家とどのようにミーティングを重ね、どのように作品を仕上げていくか?というお話はとても興味深いものでした。

また、紙芝居の演じ方、紙芝居と絵本の違いについてのお話には、ベテランも初心者も両方に響くものがあつたようで、それぞれの立場からのご感想が早速届いています。

講演のあと休憩をはさみ、今度は会から4名が作品を演じました。日下部さんの講評がセットになっているので、演じ手のみ

児童文学作家 **くすのき しげのり** さん 講演会

**一人ひとりがみんなたいせつ**

～作家が語る作品の世界～

日時 **2023年12月10日(日)**  
13:30～16:00 (受付12:30より)

会場 **ハートプラザみその 多目的ホール**  
伊勢市御幸町東區2767 ☎ 0596-22-6602

参加費 **大人1,500円 小学生・中学生 500円**

絵本『おこだでませんように』など200を越える著作で親しまれている、児童文学作家くすのきしげのりさんを伊勢にお招きし、講演会を開催いたします。講演会の前後には著書の販売やサイン会もあります。是非、ご一緒しましょう！詳しくは当店Webページまで。

## おはなし会

7日(火) 11:00～  
11日(土) **お休みします**  
21日(火) 11:00～  
25日(土) 14:00～



## 大人のための絵本の時間

14日(火) 10:00～ **大人も絵本を楽しみたい!**

## 紙芝居ピッポの会ミニ講座

6日(月) 14:00～

## お知らせ

2023 11

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				定休日	営業します	
5	6	7	8	9	10	11
定休日	紙芝居ピッポの会ミニ講座	おはなし会		定休日		臨時休業
12	13	14	15	16	17	18
定休日		大人のための絵本の時間		定休日		
19	20	21	22	23	24	25
定休日		おはなし会		営業します		おはなし会
26	27	28	29	30		
定休日				定休日		



※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**  
〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)  
●電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com  
●定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00～PM6:00  
●ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>





## 新刊紹介

タイトル  
二見正直



「あける」  
はらぺこめがね  
佼成出版社 1,430円

しまっている蓋を開けるときのドキドキ、ワクワク感。しかも中にはおいしいなぞ!かつどん!ハンバーガーなど、開ける楽しみの連続!



「えすがたによぼう」  
ぶん・今江祥智  
え・赤羽末吉  
BL出版 1,650円

一度殿様に奪われたによぼうを、純真な心で取り戻した夫。新潟に残る民話をユーモラスに。そして赤羽末吉さんの絵で復刊!!



「ひと粒の  
チョコレートに」  
文 佐藤清隆  
絵 junaida  
福音館書店 2,200円

甘くておいしいチョコレートが作り出されるまで、長い年月とたくさんさんの工夫がありました。ひと粒のチョコレートに1万年の歴史を感じてみてください。



「たべるぞ たべるぞ」  
田島征三  
佼成出版社 1,540円

食べることは当たり前のこと。そこに感謝や楽しみがあることを実感できます。豪快に食べて、楽しんで食べて、生きる力が湧いてきそう!



「その絵ときたら!」  
ミシェル・マーケル 文  
バーバラ・マクリントック 絵  
福本友美子 訳  
ほるぷ出版 2,640円

その名は米国の絵本賞ゴールドデコット賞でお馴染み。どんな人物だったのでしょうか。写実的で、ユーモラス、クラシカルな魅力のゴールドデコットの絵も登場します。



「どんぐりどんぐり」  
降矢なな さく  
福音館書店 990円



「さるさるおさる」  
乾 栄里子 作  
高島邦生 絵  
金の星社 1,485円



「いただきます  
ごちそうさま」  
たけうち ちひろ  
BL出版 1,100円



「はな  
とったのだけ?」  
ロレンツォ・クレリチ  
訳 谷川俊太郎  
ポプラ社 1,430円



「続 窓ぎわの  
トットちゃん」  
黒柳徹子  
講談社 1,650円

トモエ学園での愛情豊かな教育の下、生き生きと育ったトットちゃんはその後どうなったのでしょうか。疎開、音楽学校、女優...42年ぶりに物語は続きます。



「なにができる?」  
さく キボリノコンノ  
PHP研究所 1,540円



「ことちゃんと  
こねこ」  
さく 堀本裕樹  
え 吉田尚令  
ほるぷ出版 1,430円

## 新刊紙芝居



「えんばすくん ぷっぷぷー」  
脚本 すとうあさえ  
絵 石井聖岳  
童心社 2,090円 12場面

なかよし園の子どもたちが大きなバスで遠足に出掛けてしまいました。えんばすくんも裏山のてっぺんまで行ってみることにしました。

## 大人コース



「ピアノ」  
いせひでこ  
偕成社 1,760円

のんちゃんが、新しく引っ越してきた家で一人、トイピアノを弾いていると隣の森からもピアノの音が聞こえてきました。音に導かれ森の中に入ってみると、そこには...

作者いせさん自身も引越の度にピアノを連れて移動し、そして今、お孫さんがそのピアノを弾くようになっているそうです。そんな中から生まれたファンタジー。

「音やリズムを色や形にするのは、古今の絵画やアートで誰もがやってきたことだと思います。私は私自身のピアノの『聴こえ方』を探しました」(偕成社Webページより抜粋)といせさんは言います。素敵絵の表現と頭の中に巡るメロディが心地よく、音楽がたぐ家族の物語に心が温まります。(さつき)